

競技規則

日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

- (1) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
男子 140—145—150—155—160—165 (以降3cmきざみ)
女子 125—130—135—140 (以降3cmきざみ)
- (2) 走幅跳、砲丸投は次の記録以下は計測しない。ただし、天候・会場・その他の状態により変更することもある。
走幅跳 男子4m50 女子3m50
砲丸投 男子7m00 女子7m00
- (3) ハードルの規格は次の通り。

種目	高さ	台数	インターバル
共通男子	91.4cm	10台	13.72m-9.14m-14.02m
低学年男子	84.2cm	10台	13.00m-8.50m-10.50m
共通女子	76.2cm	10台	13.00m-8.00m-15.00m
低学年女子	76.2cm	8台	12.00m-7.50m-15.50m

- (4) 三段跳の踏切位置は9mとする。
- (5) 抗議は、そのラウンド終了もしくは正式発表後直ちに各区専門部長を通じて審判長に申し出ること。
- (6) 招集は次の通り行う。ただし、リレー競技は招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を招集所に提出し、改めてトラック競技の招集時刻に間に合うように招集を行うこと。
トラック競技 40分前から15分前
フィールド競技 60分前から30分前
- (7) 男子3000mにおいては給水を設置する。
- (8) 欠場する際は筑前地区中体連サイトから「出場辞退届」をダウンロードし当日受付に提出すること。また、招集所にて「棄権届」を受け取り、記入し本部確認後招集所へ提出すること。
- (9) タイムレース決勝において同タイムの場合は1/1000単位で着差をつける。それでもつかない場合は抽選を行う。
- (10) スパイクのピンの長さは9mm以内のものを使用すること。走高跳は12mm以内。
- (11) アスリートビブスは福岡陸協指定のものを胸背部につけること。ただし、跳躍種目においては、胸背部どちらかでよい。
- (12) リレー走者は、同一系のユニフォームを着用すること。ただし、低学年リレーは除く。
- (13) 800mはセパレート、1500mはオープンスタート、3000mは階段式スタートで行う。
- (14) 3種目（リレー含む）で競技時間が重なった場合はその種目の主任に必ず申し出てトラック競技を優先する。
- (15) 学校対抗及び個人競技を並行して行う。得点は1位6点、2位5点、3位4点、以下1点を減じ、6位を1点とする。
- (16) 団体・個人3位まで賞状を授与する。団体優勝校には優勝旗も授与する。
- (17) 表彰は結果発表終了後、本部にて直ちに行う。本人が出られないときは代理を立てること。
- (18) 博多の森陸上競技場におけるフィールド種目での録画再生機器や録画映像の競技区域への持ち込みについては、フィールドと観客席との高低差が大きいため、安全上の観点（転落の危険性）と録画映像を提供する者のすぐ近くの位置とは言えないことから、禁止とする。
- (19) 今大会はシューズ規定周知を目的として、試合で使用する靴底の厚さについて招集所で確認する。ただし、特に違反が起こりやすい、800m以上の中長距離種目とフィールド種目に限る。該当種目に参加する選手は試合で使用するシューズを招集所に持参すること。

注意事項

- (1) 場所取りは事前に行えない。当日からとする。
- (2) 開閉開式は行わない。安全マナーチェックは招集時に行う。
- (3) 競技に出場する選手以外は競技場内に入らない。
- (4) 本部前や競技場建物内は通行しない。
- (5) 応援については特にフィールド競技の進行の妨げにならない範囲で行うこと。また、集団での連呼応援はサイド・バックスタンドでのみ行うことができる。さらに、動画や写真撮影は博多の森使用時の許可された範囲でのみ行うこと（盗撮予防のため）。
- (6) アップはできる限り補助競技場、雨天練習場で行うこと。
- (7) 駐車場は第1、第2、第3駐車場が使用できる。バスの乗降は第3駐車場のみで許可する。バスは道路沿いの正門より敷地に入らない。ただし、7:00までに正門をバスが出られるのであれば敷地内に入ってもよい。
- (8) 生徒・保護者のトラック・フィールド内での写真・動画撮影を禁止する。また、撮影した写真・動画は個人情報保護の観点からネットやSNS上にアップしない。
- (9) 7位までに入賞した選手、チームの顧問は、本部で県大会手続きを当日中に必ず行うこと。また、県大会を棄権する場合は、全競技終了後30分以内に本部に申し出ること。
- (10) 当日朝の流れは次の通り。
6:30 道路沿い競技場入口 開門
7:10 スタンド3階中央門扉、補助競技場・投てき練習場、第3駐車場 開門
7:15～8:00 学校受付（競技場正面入口）
8:00 メイン競技場での練習終了
8:05 顧問及び審判打ち合わせ / 補助員集合完了（走幅跳ピット）
8:45 競技開始

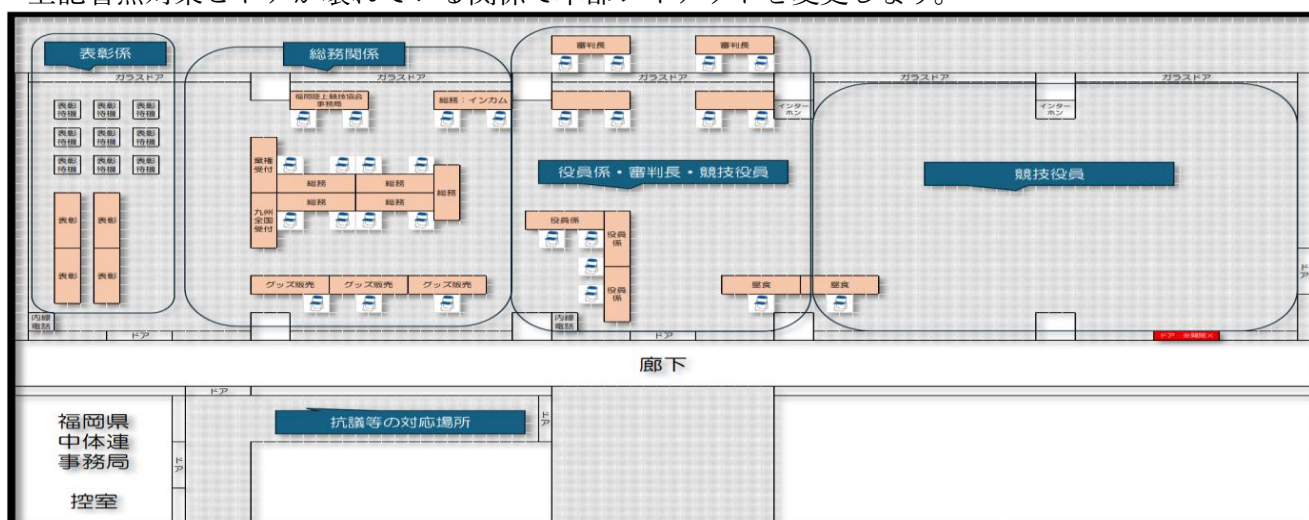
1 当日の流れ【変更 ver】

6 : 3 0	開門（第1・第2駐車場駐車可）
7 : 1 0	開場/第3駐車場開門
7 : 1 5	専門部会（各区専門部長会）
7 : 1 5 ~ 8 : 0 0	学校受付
8 : 0 0	補助員集合アナウンス/メイン練習終了
8 : 0 5	顧問・競技役員打ち合わせ
8 : 1 5	補助員と競技役員との打ち合わせ
8 : 4 5	競技開始
1 6 : 5 0	競技終了

※赤い部分が変更された部分。

2 注意事項

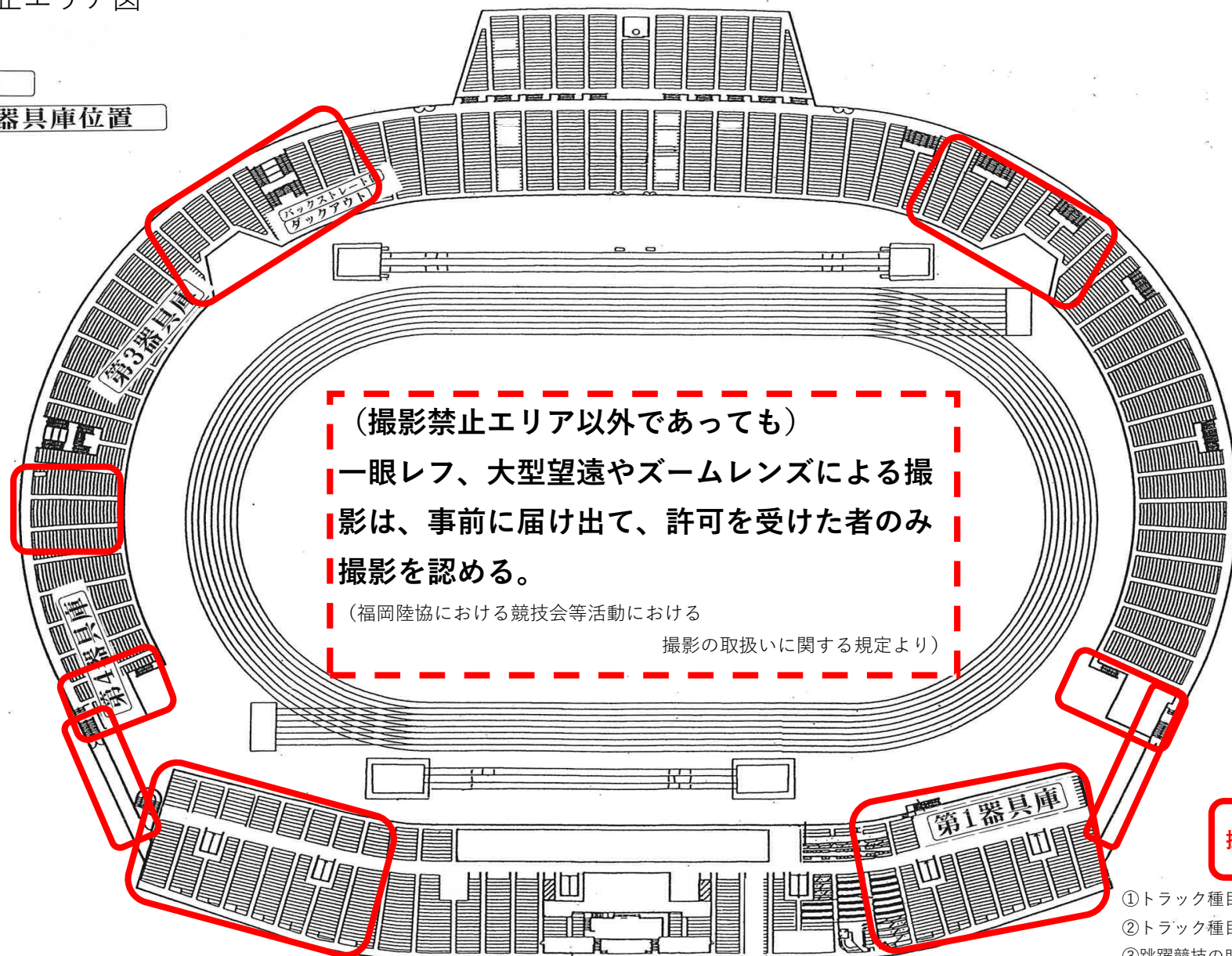
- ・競技開始を30分早めていますので、朝が例年よりバタバタします。各審判部署での準備も早めをお願いします。
 - ・暑熱対策の一環として、2種目出場の生徒で1種目に絞りたい場合は、棄権を認めます。本来であれば勝ち上がりの大会ですので参加義務がありますが、プログラムの順番を入れ替えた経緯もありますので、今回は特例で認める方針です（来年度以降もよいわけではないので注意を）。
 - ・走幅跳、三段跳、砲丸投については、1回の試技が全員終わるたびに審判が飲水できる時間（休憩時間）を設けてください。
 - ・走高跳については、高さが変わるたびに審判が水分補給（休憩）をしてください。
 - ・WBGTの数値によっては、競技を中断する場合があります。その場合、競技開始時間が後ろにずれることになります。審判・選手・保護者へあらかじめ連絡をお願いします。
 - ・クーリングルームを作ります。
 - トレーニング室A→女子選手
 - トレーニング室B→男子選手
 - 会議室→トラックレース後
- ※トレーニング室A/Bは出場競技の1時間前～1時間後の2時間のみ自由に滞在できる。
- ※会議室はすべてのトラック種目レース後に必ず会議室を通して通路にでてもらう。その際、滞在は最大15分間とする。また、スパイクは脱いで入室すること。
- ※フィールド競技についても、競技終了後はトレーニング室A/Bで涼んだ後に戻るようにチーム代表者事前に、審判は競技終了後に伝えること。
- ・上記暑熱対策とドアが壊れている関係で本部レイアウトを変更します。



撮影禁止エリア図



器具庫位置



撮影禁止エリア

- ①トラック種目のスタート時の前方・後方
- ②トラック種目のフィニッシュ付近
- ③跳躍競技の助走後方、着地正面
- ④走高跳、棒高跳等のマットに向かった正面

※場所の詳細は実際のスタンドでご確認ください。